

住宅用火災(煙式)警報器

TOHO GAS

自動試験機能付

住宅用火災警報器 検定合格品

品名

CS-W4

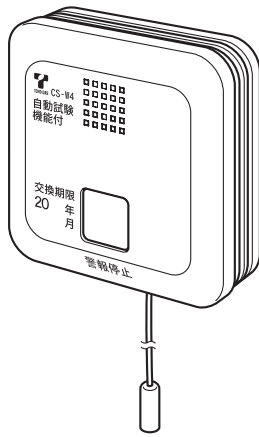
型式名

SA-182E

取扱説明書 [保管用][保証書付]

このたびは、住宅用火災(煙式)警報器をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。
なお、本書は取付後も大切に保管し、いつでも使用できるようにしてください。

- 消防法で定める住宅用火災警報器として設置できます。
 - この警報器は消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
 - この警報器は煙を感知して音声で警報を発する機能を持っていますが、火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
 - 火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
 - お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な感知になります。
- 万一の火災に対してより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめいたします。



A182EHT_ (03) _

保証書

商品名 住宅用火災(煙式)警報器 品名 CS-W4

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この保証書は、東邦ガス供給区域内においてご使用になる場合に、本書記載内容で無料点検・無料取替えをお約束するものです。

万一故障いたしましたときは、本書をご提示の上、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガス営業所にご連絡ください。

1. 保証期間
(1) 保証期間は、お取付け後5年間とし、機器本体(専用電池含む)を対象とします。
なお、警報器本体の交換期限はお取付け後10年間です(交換期限は、機器本体ラベルに「西暦と月」で記入しております)。保証期間終了後は、交換期限内であっても、無料点検・無料取替えはできませんのでご注意ください。

2. 点検の実施
(1) 取扱説明書に基づいた使用状態で、誤作動等の異常が発生した場合には、点検いたしますのでご連絡ください。
(2) 点検の結果、故障が認められた場合は、点検を無料として無料取替えいたします。

3. 保証書の適用除外
保証期間内であっても、次の場合には、有料点検・有料取替えとなります。
(1) 点検の結果、本製品に異常が認められない場合。
(2) 取扱説明書に基づかない使用して生じた故障または損傷。
(3) 火災、凍結、塩害、地震、風水害、落雷、煙火害、腐食、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電磁波、犬・猫・ねずみ・鳥・くも昆虫等の動物による故障または損傷、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障または損傷。
(4) 水や煮こぼれ等の液体による故障または損傷。
(5) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障または損傷。
(6) 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、筐体の色あせ等の経年変化、ご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。

(裏面をご覧ください。)

1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

- △危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
- △警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
- △注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「一般的な禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「必ず行う」事項を示しています。

△危険

火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

- 火元を確認し、消火してください。

○消火が不可能なときは、避難してください。

△警告

- 分解や改造はしないでください。

故障の原因となります。
- 警報器を落下させるなど、衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。
- 警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。
- ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。

火災や故障の原因となります。

△注意

- 取付位置を移動させないでください。

警報の遅れの原因となります。
- 取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。
- 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。

警報の遅れの原因となります。
- 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。

聴力障害などの原因になるおそれがあります。

△注意

- 引きひもを引いて火災警報音を止めるとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。

警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。
- 警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。

故障の原因となります。
- お客さまご自身で専用リチウム電池を交換しないでください。

故障の原因となります。
- 電池切れの場合は、販売店までご連絡ください。

2. 各部のなまえとはたらき

- スピーカー

警報音が鳴ります。
- 交換期限

警報器の交換期限が表示されています。
- ランプ(赤色)

火災による煙を感知すると、ランプが点滅します。
通常は消灯しています。
電池切れや故障しているときは、ランプが10秒おきに1回または3回点滅します。
- スイッチ

スイッチを操作する*と警報音を停止させたり、定期点検を行うことができます。
★スイッチを押したり、引きひもを引いて操作することをいいます。
- 電池収納部

付属の専用リチウム電池を取り付け、収納します。
※専用リチウム電池の取り付け方法は、ウラ面の「取付説明」-「B-2 専用リチウム電池の取り付けと設置年月の記入」を参照してください。
- 煙感知部

煙を感知します。
火災などにより、警報器周囲の煙が一定濃度以上になると、警報を発します。
- 引きひも(約70cm)

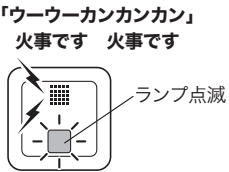
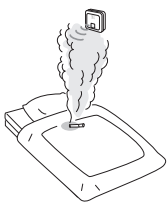
警報音を停止させたり、定期点検をするときに使用します。
引きひもを使用しない場合は、取り外してください。
また、引きひもが長い場合は、使用しやすい長さにカットしてください。

付属品	
取付ベース…1個 (本体に取り付けられています。)	取付ねじ…2本
専用リチウム電池…1個	引きひも (点検ツマミ付)…1本 (本体に取り付けられています。)
石膏ボードピン…5本	取扱説明書(保証書付)[本書]…1枚

3. 警報器のお知らせ機能について

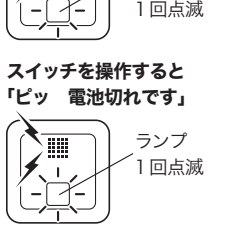
火災による煙が発生したときは

警報器周囲の煙が一定濃度以上になると、ランプが点滅し、「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」と警報します。



電池切れのときは

電池切れが近づくと、ランプが10秒おきに1回点滅し、「ビッ 電池切れです」と1回お知らせした後、約1分おきに「ビッ」音が鳴ります。

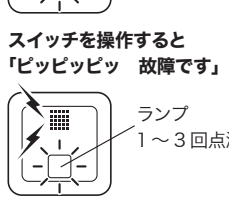


スイッチを操作すると、ランプが1回点滅し、「ビッ 電池切れです」と1回お知らせし、以後36時間ランプ表示と「ビッ」音は停止します。



故障しているときは

故障していると、ランプが10秒おきに3回点滅し、「ビッビッビッ 故障です」と1回お知らせした後、約1分おきに「ビッビッビッ」音が鳴ります。



スイッチを操作すると、ランプが1〜3回点滅し、「ビッビッビッ 故障です」と1回お知らせし、以後36時間ランプ表示と「ビッビッビッ」音は停止します。



故障状態では煙を感知できず、火災警報動作をしない場合があります。

- ※ 電池切れ警報中または故障警報中であっても、煙を感知した場合、火災警報が可能であれば火災警報を発します。
- ※ 36時間の停止中にスイッチを操作すると、お知らせの音声を発しますが36時間のタイマーはリセットされません。
- ※ 36時間を経過すると、再度ランプが点滅し「ビッ」音(または「ビッビッビッ」音)が鳴ります。

〈自動試験機能〉

電池切れまたは故障した場合、自動的に検知し、お知らせする自動試験機能を備えています。

おねがい

自動試験機能では、すべての故障は検知できません。
ランプが点滅しなくても1ヶ月に1回程度の点検を行ってください。

〈警報履歴確認機能〉

警報器が正常に動作しているときに、定期点検から10日間以内に火災警報または電池切れ・故障があった場合、履歴を表示する機能を備えています。

スイッチを操作すると、「ビッ 正常です」の後に以下の表示をします。

- 火災警報があった場合、ランプが約1秒間点灯します。
- 電池切れ・故障があった場合、ランプが約1秒間に3回点滅します。
※ 専用リチウム電池のコネクタを警報器に接続してから約25分以内については、警報履歴は残りません。

4. 警報音が鳴ったときの処置のしかた



1 『ウーウーカンカンカン 火事です 火事です』と鳴ったときの処置のしかた【ランプが点滅】

△危険

警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難する。



火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

119番への通報



警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が止まり、ランプが消灯します。



2 火災以外で警報音が鳴ったときの処置のしかた

警報音を止めたいとき

スイッチを操作してください。
警報音が止まり、ランプが消灯します(約5分)。
※ 警報を停止してから5分後、煙感知部が煙を感知している場合は、再度警報音が鳴り、ランプが点滅します。
※ 止まっている間に、警報作動原因を取り除けば、警報は止まります。

警報音が鳴った原因について

火災以外でも次のような場合には、火災警報動作をすることがあります。

- スプレー式殺虫剤、ヘアースプレーが警報器に直接かかったとき。
- タバコの煙を警報器に吹きかけたとき。
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかったとき。
- くん煙式殺虫剤などの煙殺虫剤を使用したとき。
- 湯気が直接かかったとき。
- 警報器が結露したとき。
- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に入ったとき。

警報音を鳴らして確認する場合

スイッチを約3秒間操作する。

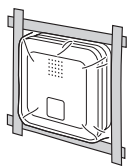
- 火災警報音「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」が鳴り、ランプが点滅すれば正常です。

◆下記の異常などがないか確認できます。

- 煙感知部の異常 ●電源の異常

〈正常に動作しない場合は〉

動作確認をしても警報音が鳴らないなどの異常があった場合は、ウラ面の「9.故障かな?と思ったら」を参照してください。



ポリ袋で覆って接着テープで周囲をふさぐ

ポリ袋で覆って接着テープで周囲をふさぐ

➡ウラ面に続く

6. お手入れのしかた

警報器側面のスリット(煙感知部)にホコリやくもの巣がつくと、正しく警報しない場合があります。警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをおすすめします。

- ① 警報器を取り外す。
(下記の「7.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)
- ② 警報器および取付部付近の壁面または天井面の汚れをふき取る。
布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。
水または石けん水
- ③ 本体の表面がよく乾いてから取り付ける。
(ウラ面の「取付説明」-「B-3 警報器の取り付け」参照)
- ④ 本体を取り付けから、正常に動作することを確認する。
(下記の「8.定期点検」参照)

おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- お手入れするときは、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面を傷めることがあります。
- お手入れ後、警報器側面のスリット(煙感知部)に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。



7. 警報器の取り外し・取り付けかた

取り外しかた

押し付けながら、左(反時計回り)に止まるまで回す。

取り付けかた

ウラ面の「取付説明」-「B-3 警報器の取り付け」を参照してください。

8. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度定期点検を行ってください。
(1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。留守中の電池切れ警報を、確認できないおそれがあります。)

- ① 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。
- ② スwitchを約1秒間操作する。
 - 「ビッ 正常です」が1回鳴り、ランプが1回点滅すれば正常です。
 - 10日以内に火災警報または電池切れ・故障があった場合は、履歴を表示します。
(「3.警報器のお知らせ機能について」参照)

警報音を鳴らして確認する場合

スイッチを約3秒間操作する。

- 火災警報音「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」が鳴り、ランプが点滅すれば正常です。

◆下記の異常などがないか確認できます。

- 煙感知部の異常 ●電源の異常

〈正常に動作しない場合は〉

動作確認をしても警報音が鳴らないなどの異常があった場合は、ウラ面の「9.故障かな?と思ったら」を参照してください。

➡ウラ面に続く

9. 故障かな？と思ったら

警報器に異常がある場合は、次の点検および処置をしてください。
処置をしても異常があるときは、販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
火災ではないのに火災警報動作する。	調理の煙・蒸気、殺虫剤、タバコの煙、浴室からの湯気などが警報器にかかっていますか？	室内を換気してください。頻繁に警報する場合は、取付場所に問題がある可能性があります。販売店にご連絡ください。
火災警報動作が止まらない。	煙感知部に煙が残っていたり、砂やホコリ、虫などが入っている可能性があります。	煙感知部に煙が残っていたり、砂やホコリ、虫などが入っている可能性があります。それでも止まらない場合は専用リチウム電池を抜き、販売店にご連絡ください。
約10秒間隔でランプが点滅する。約1分間隔で「ピッ」音または「ピッピッ」音が鳴る。	スイッチを操作したとき、「ピッ」電池切れのメッセージが鳴りませんか？	専用リチウム電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。（オモテ面の「3.警報器のお知らせ機能について」参照）
スイッチを操作しても動作しない。	スイッチを操作したとき、「ピッピッ」故障のメッセージが鳴りませんか？	警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。（オモテ面の「3.警報器のお知らせ機能について」参照）
スイッチを操作しても動作しない。	引きひもが正しく取り付けられていますか？	ウラ面の「取付説明」-「E-4」引きひもの取り付け、長さ調節を参照し、正しく取り付けてください。
	専用リチウム電池が確実に取り付けられていますか？	電池コネクタを確実に接続してください。（それでも動作しない場合は、販売店にご連絡ください。）
	専用リチウム電池が切れていませんか？（電池切れ警報をしていませんか？）	販売店にご連絡ください。

10. アフターサービスについて

- この警報器の保証期間はご購入日から5年間です。保証書をご参照ください。
保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合は、原則として有償取替えとなります。お取り付け時にご確認ください。
保証書は大切に保管してください。
保証期間経過後の故障、電池切れについては有料での警報器取り替えとなります。
- この警報器の交換期限は10年です。（警報器表面に記入しています。）
交換期限を過ぎたものは、電池切れなどにより正常な動作をしないおそれがありますので、新しい警報器とお取り替えください。
交換期限は保証期間とは異なり、交換期限内であっても保証期間を過ぎている場合は、無償取替えはできませんのでご注意ください。
- 警報器に異常がある場合は、「9. 故障かな？と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店にご連絡ください。
- 設置場所の環境や点検頻度などにより、電池寿命が短くなる場合があります。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店までご連絡ください。

11. 廃棄について

警報器を廃棄する場合はお住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。
※ 必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

警報器と専用リチウム電池の分別のしかた

専用リチウム電池の
コネクタを引き抜き、
専用リチウム電池を
取り出してください。

専用リチウム
電池

コネクタ
引き抜く

⚠ 警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。
リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガをしたり、火災に至るおそれがあります。

取 付 説 明

【施工される方へ】

1 お願いとご注意

- お客さまにこの警報器を安全に正しく使用いただくため、この説明書をよくお読みになり、指定された取り付けを行ってください。
- お客さまのご要望される設置場所、警報器の種類が各市町村の火災予防条例に適合しない場合は、お客さまに各市町村の火災予防条例に適合するための設置場所、警報器の種類を説明の上、火災予防条例に適合する設置場所、適合する種類の警報器を設置いただくようにご理解を得てください。
例えば
火災予防条例に定める設置場所に警報器を設置しない場合
火災予防条例に定める設置場所に条例に定められていない警報器を設置されている場合など
- 取付終了後に、「4 取り付け後の動作確認」にしたがって、動作確認を行ってください。なお、動作不良の場合は交換してください。
- 取付終了後、お客さまへ下記の内容を説明してください。

- 動作確認結果の説明。
- 取扱説明書を必ず読んでいただくこと、保管していただくことをお願い。
- 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 - ① 火災警報時のとるべき処置の説明。
 - ② 動作確認を行い、点検方法、点検頻度（1ヶ月に1回程度および1週間以上留守にされた場合）、およびお客さまにご自身で点検をしていただく必要があることの説明。
 - ③ 電池切れ警報、故障警報が発生する場合。
 - ④ 火災以外で火災警報が発生する場合。
 - ⑤ 警報器の移動、分解の禁止。
 - ⑥ 保証期間がお買い上げ日から5年であること、交換期限がお買い上げ日から10年であることの説明。

⚠ 警告

- 警報器の取り付け・取り外し時などは、安定した台に乗って作業を行ってください。転倒してケガをするおそれがあります。
- 警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、警報器の取り扱いには十分に注意してください。故障や誤作動の原因となります。

⚠ 注意

- 専用リチウム電池のコネクタは確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。
- 天井面に取付ける場合、取付ベースの真下で取り付け作業を行わないでください。
ねじの締め付け時に天井材のくずが目に入るおそれがあります。
目に入った場合は、ただちに洗い流してください。
- 付属の取付ねじを使用して確実に取り付けてください。
両面テープなどで取り付けたと、落下によるケガやものが破損するおそれがあります。
- 取付ベースや警報器本体の取り付けは、確実に行ってください。
落下によるケガやものが破損するおそれがあります。
- 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。
聴力障害などの原因になるおそれがあります。
- 引きひもを強く引いたり、引きひもにぶらさがらないでください。
転倒や落下のおそれがあります。

2 取付位置の確認

※ 設置および維持基準は、政省令で定める基準にしたがい、市町村条例で定められています。各市町村によっても設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

設置場所の選定は、お客さまとよく相談してお決めください。

⚠ 注意

正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けは、いけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

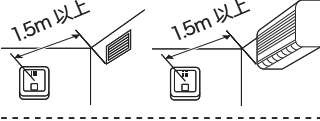
12. 仕様

種 別	光電式住宅用防災警報器
感 知 方 式	煙感知方式（光電式2種）
定 格	DC3V、3.00mA
電 源	専用リチウム電池（CR-2/3AZC22PCR17335E-N-CN1-SCD）（DC3V）×1コ
機 器 交 換 期 限	10年（電池寿命約10年※）
試 験 機 能	自動試験機能
火 災 警 報 時	「ウーウーカンカン」火事です 火事です」
電池切れ警報時	1分おきに「ピッ」音、スイッチを操作すると「ピッ 電池切れです」
故障 警 報 時	1分おきに「ピッピッ」音、スイッチを操作すると「ピッピッピッ 故障です」
火 災 警 報 音 量	70dB（A）/m以上
寸 法	幅約90mm×高さ約90mm×奥行約28mm
質 量	約115g（専用リチウム電池含む）
使用周囲温度	0℃～+40℃（結露しないこと）
設 置 場 所	壁面・天井面
復 旧	自己復旧方式

※ 10年間の寿命を保証するものではありません。ご使用環境の温度、湿度、ホコリの量や、点検回数（火災警報回数）などのご使用条件によっても短くなる場合があります。お買い上げ後10年以内であっても保証期間を過ぎている場合の電池切れは、無償取替えできませんのでご注意ください。

正しい取付場所について

- この警報器は、以下のような場所への設置をおすすめします。
居室、寝室、階段、廊下
- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。



- 壁面に取り付ける場合は、できるかぎりたれ壁やはりから60cm以上離してください。



取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。
誤作動や故障、または警報が遅れる原因となります。

- 浴室入、水のかかる場所、水滴がつく場所。
感電や電気的故障の原因になります。
- 温度が0℃～+40℃の範囲をこえる場所。
警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。
- タンスなどから60cm以内の場所。

- ホコリや虫の多い場所。

3 取り付けかた

3-1 本体と取付ベースの取り外し

- 片手で本体の外周を持ち、もう一方の手で取付ベースの取り外し用穴に指を入れてください。
- 取付ベースを本体側に押し付けながら、左（反時計回り）に回して、取付ベースを外してください。

おねがい

取付ベースを引っ張りながら回さないでください。
取り付け時の本体落下防止の安全ロック機構が働くため、取付ベースは外れません。

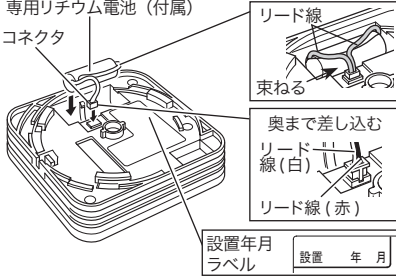
3-2 専用リチウム電池の取り付けと設置年月の記入

⚠ 注意

- コネクタの接続にドライバーなどを使用しないでください。
コネクタが破損したり、専用リチウム電池がショートする原因になります。
- リード線の赤（+）と白（-）の向きを間違えないように、確実に差し込んでください。
- 専用リチウム電池の外装フィルムは電池を保護するものです。はがさないでください。

本体裏側の取付ベースを外して、専用リチウム電池を取り付け、設置年月ラベルに設置年月を記入してください。

- 専用リチウム電池を入れて、コネクタを接続する。
※ コネクタには極性があり、逆向きには接続できません。
- 専用リチウム電池のリード線を、図のように束ねる。
- 設置年月を記入する。



3-3 交換期限の記入

交換期限ラベル
お買い上げ日から10年後（西暦）の
同月を記入してください。

3-4 引きひもの取り外し、長さ調節

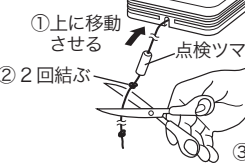
⚠ 警告

警報器を、木質などの壁面に壁掛け取り付け（壁面の取付ねじ1本に引っ掛けて取り付け）をする場合、または石膏ボードの天井面に取付ける場合は、引きひもを取り外してください。
引きひもを強く引くと、本体の落下により、お客さまがケガをするおそれがあります。

引きひもの取り付けについては、引きひもの取り付け可能な設置場所
お客さまのご要望をお聞きし、引きひもの取り外し、または長さ調節をしてください。

引きひもの長さの調節方法

- 点検ツマミを上移動させる。
- 適当な長さとなる部分で2回結ぶ。
- 点検ツマミの先の余ったひもを切る。



引きひもの取り付けかた・取り外しかた

取り付けかた
引きひもを引きひも取付部に通した後、引きひもガイドに取める。

取り外しかた
引きひもを矢印方向に引く。

3-5 取付ベースの取り付け

取付ベースの取り付けは、取付ねじ2本で固定することを原則とします。ただし、取付ねじ2本での取り付けについてお客さまのご了承を得られない場合は、取付ねじ1本での取り付けもできます（「E-8 木質などの壁面に壁掛け取り付けをする場合」参照）。

⚠ 注意

取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けしないでください。
取付強度を保持するため、石膏ボードピンは根元まで差し込んでください。万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直してください。

木質などの壁面に取付ける場合（取付ねじ2本で固定する）

- 取付ベース外周部の目印が壁面の目地などと平行または垂直になるように、取付ベースを図のように取付ねじ（2本）で壁面に仮締めする。
- 取付ベースを左右に回転させて、取付角度を微調整する。
- 取付ねじ（2本）を本締めする。

石膏ボードの壁面に取付ける場合

取付ベース外周部の目印が壁面の目地などと平行または垂直になるように、取付ベースを図のように石膏ボードピン（4本）で壁面に固定する。

〈確認〉

取付ベースが、壁面に密着していることを確認してください。

天井面に取付ける場合

⚠ 警告

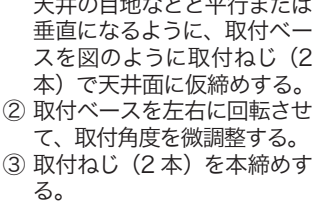
石膏ボードの天井面に取付ける場合は、引きひもを取り外してください。
引きひもを強く引くと、本体の落下により、お客さまがケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 天井面に取付ける場合は、石膏ボードピンを使用しないでください。
- 取付ベースの方向で警報器の向きが決まります。
事前にお客さまへの確認をしてください。

木質天井面や石膏ボードの天井面では、棧が通っている箇所に取り付けてください。

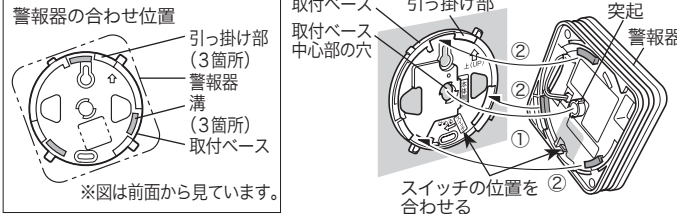
両面テープによる取付禁止



〈確認〉
取付ベースが、容易に脱落しないことを確認してください。

3-6 警報器の取り付け

- 警報器裏面中心部の突起を、取付ベース中心部の穴に合わせる。
※ 取付ベースの刻印「スイッチ側」と警報器のスイッチの裏側部と位置を合わせる。
- 取付ベースの引っ掛け部の手前に、警報器裏面の溝（3箇所）を合わせる。



おねがい

引きひもを使用する場合は、引きひもが引きひもガイドに収まっていることを確認してください。
確実に収まっていなくて、引きひもを正しく操作できなかつたり、警報器を取付ベースから外すことができません。

- 本体を押し付けながら、右（時計回り）に回して固定する。

壁掛け取り付けの場合

天井取り付けの場合



3-7 警報器の取付角度の微調整

警報器の取付角度は、以下の手順で微調整できます。

■壁面に取付けている場合

警報器が垂直になるように、少し左右に回して、角度を微調整する。

■天井面に取付けている場合

警報器が天井面の目地などと平行または垂直になるように、少し左右に回して、角度を微調整する。

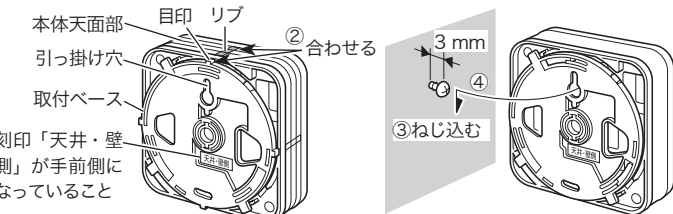
※ 角度の微調整の際、警報器を左（反時計回り）に回し過ぎて、「カチッ」と音がした場合は、警報器が外れているおそれがあります。

3-8 木質などの壁面に壁掛け取り付けをする場合（取付ねじ1本に引っ掛けて取り付け）

⚠ 警告

木質などの壁面に壁掛け取り付け（取付ねじ1本に引っ掛けて取り付け）をする場合は、引きひもを取り外してください。
引きひもを強く引くと、本体の落下により、お客さまがケガをするおそれがあります。

- 引きひもを外す。
- 取付ベースを警報器にはめ込み、引っ掛け穴側の取付ベース外周部の目印が、本体天面部のリップと合うように、取付ベースを回して、取り付けてください。
- 取付ねじ（付属）を壁面から3mm出るように取り付け。
※ ねじを完全に締め付けた状態から1回転半戻すと、約2～3mmになります。ねじが出過ぎると、引っ掛けたときに取付ベースの裏面が破損するおそれがあります。
- 本体を取付ねじに引っ掛ける。
- 本体が確実に引っ掛かっていることを確認する。



4 取り付け後の動作確認

- 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。
- スイッチを約1秒間操作する。
 - 「ピッ 正常です」が1回鳴り、ランプが1回点滅すれば正常です。

警報音を鳴らして確認する場合

スイッチを約3秒間操作する。

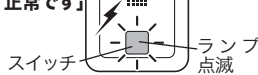
- 火災警報音「ウーウーカンカン」火事です 火事です」が鳴り、ランプが点滅すれば正常です。

- ◆下記の異常がないか確認できます。
 - 煙感知部の異常
 - 電源の異常

⚠ 警告

ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。
火災や故障の原因となります。

「ピッ 正常です」



3. 保証書の適用除外の続き

- 本製品の お買い上げ販売店または当社が指定した取付業者以外で取付けられた場合の故障または損傷。
- お買い上げ後、お客さまによる取付位置の移動、落下、衝撃等を起因とした故障または損傷。
- お買い上げ後に、分解、改造等が行われた場合の故障または損傷（ただし、当社都合の場合は除く）。
- 過度な頻度で警報器を点検したことにより電池が消耗したため。
- 調理の煙や湯気、ほこりなど、住宅環境による警報発生により電池が消耗した場合。
- 本書にお取り付け日、販売店名・住所の記入捺印がない場合、あるいは字句を書き替えた場合。
- 本書のご提示がない場合。
- お客さまへ 〈ご注意〉
 - 本書をお受け取りになる時に、お取り付け日、販売店名・住所が記入捺印であることを確認してください。
 - 本書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
 - 交換期限（お取り付け後から10年）経過後は、新しい商品とお取替えください。
 - 本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
 - 無料点検・無料取替えやアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガス営業所にお問い合わせください。

お取り付け年月 年 月
販売店名（店名）（住所）（TEL）

保証履行者 東邦ガス株式会社
〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19番18号
保証責任者 新コスモス電機株式会社
〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4